

急傾斜地崩壊対策事業事前評価調書

路線・河川等名	小坪	事業名	急傾斜地崩壊対策事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	与謝郡伊根町日出		
事業概要	目的	小坪地区は、与謝郡伊根町日出に位置し、保全対象として人家10戸を含む急傾斜地である。今後の集中豪雨等により、土砂災害の発生が懸念され早急に対策をする必要がある。			
	内容	重力式擁壁 L=114m			
	上位計画等	京都府総合計画 社会資本総合整備計画			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	土砂災害警戒区域内に、人家が存在し、土砂災害が発生した場合、地域住民に与える影響は大きい。			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	土砂災害からがけ下に存在する人家を守り、人命を保全する事業であり、投資効果は大きい。			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	擁壁等を効率的に配置し、施設効果の最大化を図ることで、擁壁の構造や落石防止柵の施設設計を検討し、地形の改変を最小限に抑え、自然環境への負荷軽減に努める。 また、現地発生土を他工事に積極的に流用調整することで、総事業費のコスト縮減を図る。			
総合評価	本事業は、土砂災害からの人命保護及び地域の安全確保の観点から、新規事業着手の必要がある。				

こつほ

小坪 急傾斜地崩壊対策事業

ぎょうとふ

よさぐんいねちょう

ひで

京都府

与謝郡伊根町

日出

地内

◎事業目的

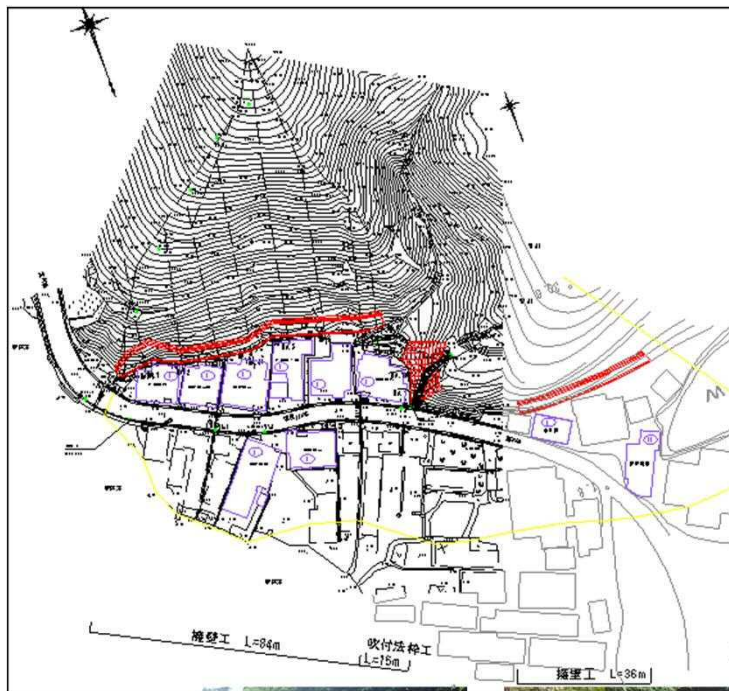
小坪地区は、与謝郡伊根町日出に位置し、保全対象として人家10戸を含む急傾斜地である。今後の集中豪雨等により、土砂災害の発生が懸念され早急に対策をする必要がある。

全体計画	R元年度までの実績	R2年度
事業期間：R2～ 事業概要：測量、設計 重力式擁壁＋法枠工 L=114m 総事業費：130百万円		事業概要：測量、詳細設計、 地質調査、用地測量 事業費：20百万円

◎事業効果

急傾斜地の崩落対策を実施することで、日出地区における住民の安心・安全を守ります。

◎平面図



◎全景写真



『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

作成年月日	令和2年 3月 9日
作成部署	建設交通部砂防課

事業名	小坪 急傾斜地崩壊対策事業	地区名	与謝郡伊根町日出
概算事業費	1.3億円	事業期間	令和2年度～
事業概要	擁壁工		
目指すべき環境像	小坪地区は、人家10戸を保全対象とする急傾斜地である。今後の大雨により、土砂災害の発生が懸念され早急に対策をする必要がある。		
関連する公共事業	なし		

評価項目		選定要否	施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点					
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)		当該箇所は崩壊が懸念される斜面が連続する。このため、斜面崩壊防止工事を実施し、山地斜面を含む現地地形と植生を保全する必要がある。	斜面崩壊を防止し、土砂移動の抑止を図るとともに、周辺の自然環境を保全する。施工にあたっては、土砂災害を防止する目的に沿い、極力大きな地形の改変を行わないよう配慮し、地質に応じた工法を検討する。	
	地形・地質	○			3
	物質循環(土砂移動)	○			4
	野生生物・絶滅危惧種				3
	生態系	○			
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン		当該箇所は、斜面崩壊防止工事が必要な箇所と保全対象が近接しているため、施工時における騒音・振動に留意する必要がある。また、土砂掘削時・斜面削孔時における粉じん等の処理が必要である。さらに、工事による建設発生土を極力リサイクルする必要がある。	工事実施中は、低騒音・低振動機械を使用することを原則とする。粉じん対策として、散水する・防塵シートを配置する等、周辺環境に支障を及ぼさないよう配慮する。また、建設発生土は当該工事や近隣の公共工事や民間工事と調整し、再利用に努める。	
	水環境・水循環				3
	大気環境				3
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	○			
	廃棄物・リサイクル	○			
	化学物質・粉じん等	○			
	電磁波・電波・日照				
	その他				
地域個性・文化環境	景観	○	当該地区周辺は人家が多数存在する地域であり、景観への配慮や地形の改変を最小限とする必要がある。	地山の改変を極力減じる工法を検討し、緑化工には現地採取材料の活用を検討するなど、速やかな植生回復を図り、景観への影響を少なくする。	3
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働	○			4
	その他				
外部評価					